

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	4	教出	上	8	~	9	2	4	~	4

大単元(題材名)	言葉に親しもう		
中単元(曲名)	わたしは、だあれ		
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	B 相互理解・寛容		

【到達目標】

知・技	○ 言葉には、考えたことを表す働きがあることに気づくことができる。
思・判・表	○ 相手のヒントをもとに的確な質問をし、その情報をもとに「物の名前」を当てることができる。
	○ 質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 相手が質問しやすいようなヒントを出したり、ヒントをもとに的確な質問をしたりして、話し合いを進めようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ ヒントを出したり、ヒントをもとに質問したりしながら、言葉の働きに気づいている。	(1)ア
思・判・表	○ 相手のヒントをもとに、自分が聞きたいことを捉え、的確な質問をしている。	A(1)エ (2)イ
	○ 相手のヒントをもとに、質問するなどして情報を集め、「物の名前」を当てる活動をしている。	A(1)エ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ ヒントを出したり、ヒントをもとに質問したりして話し合いを進めている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
わたしは、だあれ①	1	○ 学習の流れをつかむ。	見通し
		○ カードに物の名前を書き、グループ内で交換する。	話題の設定
わたしは、だあれ②	1	○ 二人で組になり、相手に見えないようにカードを渡し、カードに書かれた物を当てる。	話題の設定
		・ 相手のカードを見て、相手にヒントを言う。	情報の収集
		・ 相手はそのヒントをもとに質問（数回可）し、カードに書かれた物の名前を当てる。	内容の検討
		・ 次は交代して、相手のカードに書いてある物の名前を当てる。	繰り返し

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	4	教出	上	10	～	12	2
							4
							～
							4

大単元(題材名)	言葉に親しもう		
中単元(曲名)	春のうた／あり		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと		
関連する道徳の内容項目	D感動，畏敬の念		

【到達目標】	
知・技	○ 2つの詩の構成を考えたり内容をイメージしたりしながら音読することができる。 ○ 様子や行動，気持ちを表す語句の量を増し，語彙を豊かにすることができる。 ○ 文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。
思・判・表	○ 「かえる」の気持ちの変化や，さまざまな「あり」について，具体的に想像することができる。 ○ 詩を読み，内容を説明したり，考えたことなどを伝え合ったりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 詩を読み，具体的にイメージを広げたり，イメージをもとに音読をしたりして詩の世界を楽しもうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 2つの詩それぞれの構成や内容の大体を意識しながら，イメージ豊かに音読している。	(1)ク
思・判・表	○ よみがえってくる感覚とともに，「かえる」の気持ちの変化を具体的に想像したり，「ありっこない」ありを想像したりしながら，言葉のリズムを楽しんでいる。 ○ 2つの詩を読み，イメージを広げたり，考えたことなどを伝え合ったりする活動をしている。	C(1)エ (2)イ C(1)エ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 具体的にイメージを広げたり，イメージをもとに音読をしたりして詩の世界を楽しんでいる。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
春のうた／あり①	1	○ 2つの詩をくり返し音読し，初発の感想を自由に発表し合う。	構造と内容の把握
		○ 「春のうた」を読み，命の再生に感動する「かえる」の思いをイメージし合う。	精査・解釈
春のうた／あり②	1	○ 「あり」を読み，「ありっこない」ありを想像しながら，詩のリズムを味わう。	精査・解釈
		○ 気に入った方の詩を，イメージを広げながら音読し合う。	共有

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	4	教出	上	14	～	27	10
							5
							5

大単元(題材名)	一 場面の様子や、登場人物の気持ちを想像しながら読もう		
中単元(曲名)	白いぼうし		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	B親切、思いやり	D自然愛護	

【到達目標】

知・技	○ 登場人物の様子や行動，気持ちや性格を表す語句の意味や使い方を理解し，語彙を豊かにすることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 登場人物の行動や気持ちなどについて，叙述をもとに捉えることができる。
	○ 登場人物の気持ちの変化や性格，情景について，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。
	○ 物語を読み，内容を説明したり，考えたことなどを伝え合ったりする活動ができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫することができる。
	○ 物語に対する感想や意見を伝え合い，自分の文章のよいところを見つけることができる。
	○ 登場人物になって日記を書くなど，感じたことや想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 登場人物の気持ちや性格を叙述に沿いながら読み，文章表現の特徴を押さえながら，その人物になって「この日」の日記を書こうとしている。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 松井さんなど登場人物の様子や行動，気持ちや性格を表す語句の意味や使い方を理解し，語彙を豊かにしている。	(1)エ， オ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ， オ
思・判・表	○ 松井さんなど登場人物の行動や気持ちなど，イメージ豊かに読んでいる。	C(1)イ， エ (2)イ
	○ 松井さんや登場人物の行動や気持ちの変化，情景について，場面の移り変わりとともに具体的にイメージ豊かに読んでいる。	C(1)イ， エ (2)イ
	○ 物語を読み，特に気になった人物について，考えたことなどを伝え合ったりする活動をしている。	C(1)イ， エ (2)イ
	○ 松井さんの気持ちなどについて，自分の考えとそれを支える理由や事例との関係をはっきりさせて，書き表し方を工夫して書いている。	B(1)ウ， オ (2)ウ
	○ 松井さんになったつもりでこの日のできごとを書いた日記に対する感想や意見を伝え合い，自分の文章のよいところを見つけている。	B(1)ウ， オ (2)ウ
	○ 松井さんになって日記を書くなど，感じたことや想像したことを書く活動をしている。	B(1)ウ， オ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面ごとに，松井さんが出会った人や，もの・ことと，その時の松井さんの気持ちをノートにまとめている。	
	○ においや色を表す言葉をノートに書き出し，想像したことをまとめている。	
	○ 松井さんの行動や気持ちを考えながら読み，松井さんになって，「この日」の出来事を日記に書こうとしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
白いぼうし①	1	○ 全文を読み, 「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
白いぼうし②	3	○ 4つの場面ごとに, 松井さんが出会った人や, もの・ことと, その時の松井さんの気持ちをノートにまとめる。	構造と内容の把握
		・ まとめたことを発表し合う。	構造と内容の把握
白いぼうし③	3	○ においや色を表す言葉をノートに書き出し, 想像したことをまとめる。	精査・解釈
		・ まとめたことを発表し合う。	精査・解釈
白いぼうし④	1	○ 登場人物の中で, 特に気になった人物について感じたことを話し合う。	考えの形成
白いぼうし⑤	2	○ 松井さんになったつもりで, この日のできごとを日記に書く。	記述
		・ お互いの日記を読み合い, 感想を伝え合う。	共有
		○ 27ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	4	教出	上	28	4	5	5

大単元(題材名)	自分の気持ちに合った言葉や表現で書きましょう。		
中単元(曲名)	ぴったりの言葉, 見つけよう		
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと		
関連する道徳の内容項目	A 個性の伸長		

【到達目標】

知・技	○ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。
	○ 漢字と仮名を用いた表記, 送り仮名の付け方, 改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに, 句読点を適切に打つことができる。
	○ 様子や行動, 気持ちや性格を表す語句の量を増し, 話や文章の中で使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 相手や目的を意識して, 経験したことや想像したことなどから書くことを選び, 伝えたいことを明確にすることができる。
	○ ふだんの生活の中で, 感じたことや想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ ふだんの生活の中で, 心が動いた瞬間を, ぴったりの言葉を使って短い文で表し, それを書きためていくとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。	(1)ア, ウ, エ, オ
	○ 漢字と仮名を用いた表記, 送り仮名の付け方, 改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに, 句読点を適切に打っている。	(1)ア, ウ, エ, オ
	○ 様子や行動, 気持ちや性格をぴったりと表す語句の量を増し, 話や文章の中で使っている。	(1)ア, ウ, エ, オ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ア, ウ, エ, オ
思・判・表	○ 経験したことや想像したことをぴったりの言葉で表す工夫をし, 伝えたいことを明確にしている。	B(1)ア (2)ウ
	○ ふだんの生活の中で, 感じたことや想像したことを書く活動をしている。	B(1)ア (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ ふだんの生活の中で, 心が動いた瞬間を, ぴったりの言葉を使って短い文で表し, それを書きためている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
ぴったりの言葉, 見つけよう①	1	○ 教材を概観し, 学習の流れをつかむ。	見通し
		○ 心が動いたことを思い出す。	題材の設定
ぴったりの言葉, 見つけよう②	1	○ その時の心の様子を「うれしかった」「悲しかった」などの言葉を使わずに表現する。	情報の収集/内容の把握
		○ その言葉をもとに5, 6文ぐらいの短い文で書く。	記述
		・ 29ページの例を参考にする。	記述
ぴったりの言葉, 見つけよう③	2	○ 心が動いた瞬間の出来事を書きためていく。(そのためのノートなどを用意しておく。)	記述
		・ 後で読み返す。	共有
		○ 29ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	4	教出	上	30	~	31	2	5	~	5

大単元(題材名)	漢字の広場①		
中単元(曲名)	漢字の部首		
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字の部首とその働きについて理解しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。	(1)エ (3)ウ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (3)ウ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字の部首とその働きについて理解している。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
漢字の部首	2	○ 漢字の部首とその働きについて理解する。	
		・ 部首の種類	
		・ 部首による漢字の分類	
		・ 同じ部首の漢字集め	

$$\boxed{5} \sim \boxed{5}$$

大単元(題材名)	三年生で学んだ漢字①		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B書くこと		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	○ 文章に対する感想や意見を伝え合い、お互いの文章のよいところを見つけることができる。
	○ 3年生で学んだ漢字を使って、絵に描かれた町の様子を書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 32ページの絵の中の言葉と3年生で学んだ漢字をもとに、絵に描かれた町の様子を具体的に文章に書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 3年生で習った漢字を使って、文や文章を作っている。	(1)エ
思・判・表	○ 町の様子を書いた文章を読み合い、お互いの文章のよいところを見つけている。	B(1)オ (2)ウ
	○ 32ページに出ている言葉を使って、町の様子を書いている。	B(1)オ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 32ページの絵の中の言葉と3年生で学んだ漢字をもとに、絵に描かれた町の様子を具体的に文章に書いている。	

【学習活動】

[illegible]

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	4	教出	上	34	~	35	2	5	~	5

大単元(題材名)	二 けっかとけつろんのつながりをとらえよう		
中単元(曲名)	ぞうの重さを量る		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 段落の役割について理解することができる。
	○ 考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 段落相互の関係に着目しながら，考えとそれを支える理由や事例との関係などについて，叙述をもとに捉えることができる。
	○ 記録や報告などの文章を読み，わかったことや考えたことを説明したり，意見を述べたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 段落相互の関係を捉えながら，疑問の提示と解決の関係を読み取ろうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 段落の役割について理解している。	(1)工，カ (2)ア
	○ 考えとそれを支える理由や事例，疑問の提示と解決などの関係について理解している。	(1)工，カ (2)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)工，カ (2)ア
思・判・表	○ 段落相互の関係に着目しながら，考えとそれを支える理由との関係などについて，叙述をもとに捉えている。	C(1)ア (2)ア
	○ 説明文を読み，わかったことや考えたことを説明する活動をしている。	C(1)ア (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 段落相互の関係を捉えながら，疑問の提示と解決の関係を読み取ろうとしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
ぞうの重さを量る	2	○ 教材の構成（本文と頭注「考えるすじみち」）を確かめる。	見通し
		・ 本文を読んだ感想を発表する。	構造と内容の把握
		・ 「考えるすじみち」と本文との対応を読み取る。	構造と内容の把握
		○ 疑問の提示とその解決を，段落相互の関係から読み取る。	精査・解釈
		・ 曹沖の説明の展開を確かめる。	精査・解釈
		・ 「まず」「次に」「最後に」が手掛かりになることを覚える。	精査・解釈

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	4	教出	上	36	～	45	10
							5
							6

大単元(題材名)	二 けっかとけつろんのつながりをとらえよう		
中単元(曲名)	花を見つける手がかり		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	D自然愛護／感動、畏敬の念		

【到達目標】

知・技	○ 段落の役割について理解することができる。
	○ 考えとそれを支える理由や事例、情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述をもとに捉えることができる。
	○ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。
	○ 説明文を読み、文章の一部を引用して、わかったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動ができる。
	○ 書く内容の中心を明確にし、段落相互の関係に注意して、文章の構成を考えることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。
	○ 事実やそれをもとに考えたことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 3つの実験の違いを確かめ、その結果をもとに、もんしろちょうが色を手がかりに花を見つけるという結論を捉えるとともに、筆者の書きぶりをまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 段落の役割について理解している。	(1)エ, カ (2)ア
	○ 考えとそれを支える理由や事例、段落相互の関係について理解している。	(1)エ, カ (2)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ, カ (2)ア
思・判・表	○ 段落相互の関係に着目しながら、結論とそれを支える実験やその結果との関係について、叙述をもとに捉えている。	C(1)ア, ウ (2)ア
	○ 疑問を解き明かそうとする筆者の説明について、中心となる語や文を見つけて要約している。	C(1)ア, ウ (2)ア
	○ 説明文を読み、文章の一部を引用して、わかったことや考えたことを説明する活動をしている。	C(1)ア, ウ (2)ア
	○ 筆者の書きぶりについて、段落相互の関係に注意して書いている。	B(1)イ, ウ (2)ア
	○ 自分の考えとそれを支える理由を明確にして、書き表し方を工夫している。	B(1)イ, ウ (2)ア
	○ 筆者の書きぶりとそれをもとに考えたことを書く活動をしている。	B(1)イ, ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 3つの実験の違いを確かめ、その結果をもとに、もんしろちょうが色を手がかりに花を見つけるという結論を捉えている。	
	○ 筆者の書きぶりをまとめている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
花を見つける手がかり①	1	○ 全文を読み、「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
花を見つける手がかり②	1	○ この文章で明らかにしようとしている疑問は何か、その答えを知るにはどうすればよいかを話し合う。	構造と内容の把握
花を見つける手がかり③	4	○ 筆者が行った3つの実験とその結果を表にまとめる。	精査・解釈
花を見つける手がかり④	1	○ ⑮段落で「『赤い花に～』と言う人が、いるかもしれません。」とっているのはなぜか考える。	精査・解釈
花を見つける手がかり⑤	1	○ 筆者が、もんしろちょうについて、もう一つもっていた疑問は何か。	精査・解釈
花を見つける手がかり⑥	1	○ 筆者たちの考え方の特徴について考える。	考えの形成
花を見つける手がかり⑦	1	○ この文章を読むと筆者と一緒に実験をしているような気持ちになるのはなぜか、その書きぶりを考える。	考えの形成/共有
		○ 45ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	4	教出	上	46	～	49	4
							6
							6

大単元(題材名)	二 けっかとけつろんのつながりをとらえよう		
中単元(曲名)	分類をもとに本を見つけよう		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと		
関連する道徳の内容項目	C規則の尊重		

【到達目標】

知・技	○ 情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 分類の仕方を理解し使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。
	○ 記録や報告などの文章を読み、わかったことを述べたりする活動ができる。
	○ 学校図書館などを利用し、分かったことなどをまとめて説明する活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「分類記号」を知り、分類記号を手がかりに、図書館で本を見つけようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 「ラベル記号」の情報について理解している。	(1)エ (2)ア, イ
	○ 「分類記号」の意味を理解し使っている。	(1)エ (2)ア, イ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)ア, イ
思・判・表	○ 「分類記号」をもとに、本を探している。	C(1)ウ (2)ア, ウ
	○ 文章を読み、わかったことを述べる活動をしている。	C(1)ウ (2)ア, ウ
	○ 学校図書館などを利用し、自分の読みたい本を探す活動をしている。	C(1)ウ (2)ア, ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 「分類記号」を知り、分類記号を手がかりに、図書館で本を見つけている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
分類をもとに本を見つけよう①	1	○ 図書館の本の「ラベル記号」の意味を確かめる。	構造と内容の把握
		・ 「日本十進分類法」を知り、「ラベル記号」の「分類記号」との対応を確かめる。	構造と内容の把握
分類をもとに本を見つけよう②	2	○ 教科書では「4」を例に取り上げている。「4」以外の「0」～「9」までを、一の位まで調べてみる。	精査・解釈
分類をもとに本を見つけよう③	1	○ 学校図書館で、「日本十進分類法」に基づく分類を確かめ、分類記号を手がかりに、本を探し合う。	共有

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	4	教出	上	50	～	53	3
							6
							6

大単元(題材名)	大切なことを落とさないように聞きましょう。		
中単元(曲名)	メモの取り方をくふうして聞こう		
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	B 礼儀		

【到達目標】

知・技	○ 必要な語句などの書き留め方を理解し使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。
	○ 説明や報告など、それらを聞く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 大切なことを落とさないように、メモの取り方を工夫して聞こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ メモの取り方を理解しメモを取っている。	(1)エ (2)イ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)イ
思・判・表	○ 必要なことをメモしたり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。	A(1)エ (2)ア
	○ 説明や報告など、メモを取りながら聞く活動をしている。	A(1)エ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 大切なことを落とさないように、メモの取り方を工夫して聞こうとしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
メモの取り方をくふうして聞こう①	1	○ 「校長教師の放送朝会で」メモを取りながら聞く場合を確かめる。	情報の収集
		・ 聞き取りメモの取り方。	情報の収集
		・ メモをもとにした話し合い。	情報の収集
		・ 53ページ「メモを取るとき」を確かめる。	情報の収集
		○ 「調べ学習で」メモを取りながら聞く場合を確かめる。	情報の収集
		・ 聞き取りメモの取り方。	情報の収集
		・ 聞いたことをまとめる。	情報の収集
メモの取り方をくふうして聞こう②	2	・ 53ページ「メモを取るとき」を確かめる。	情報の収集
		○ 二人で組を作り、話をし合ってメモを取り合う。	情報の収集
		・ 話す内容を準備する。	考えの形成
		・ それぞれにメモを取りながら聞き、聞いたことについて話し合う。	共有
		○ 53ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	4	教出	上	54	~	57	2	6	~	6

大単元(題材名)	漢字辞典の引き方		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字辞典の引き方を知り，辞典を利用する習慣を身につけようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 漢字事典の使い方を理解し使っている。	(1)エ (2)イ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)イ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字辞典の引き方を知り，辞典を利用する習慣を身につけようとしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
漢字辞典の引き方①	1	○ 漢字辞典のページの見方を確かめる。 ・ 総画数・読み方・部首・部首以外の画数・成り立ち・意味・言葉例	
		○ 漢字辞典の引き方を確かめる。 ・ 部首索引・総画索引・音訓索引	
漢字辞典の引き方②	1	○ 57ページの練習問題など，さまざまな漢字を，方法を変えて引いてみる。	

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	4	教出	上	58	～	63	10
							6
							6

大単元(題材名)	三 伝わりやすい組み立てを考えて書こう		
中単元(曲名)	リーフレットで知らせよう		
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと		
関連する道徳の内容項目	C 勤労・公共の精神		

【到達目標】

知・技	○ 漢字と仮名を用いた表記，改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに，句読点を適切に打つことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 書く内容の中心を明確にし，内容のまとまりで段落をつくり，文章の構成を考えることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫することができる。
	○ 間違いを正したり，目的を意識した表現になっているかを確認めたりして，文章を整えることができる。
	○ 調べたことをまとめて報告するなど，事実やそれをもとに考えたことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 見学したことや調べたことなどについて，地域の人に伝えたり，記録として残したりするために，リーフレットにしてわかりやすく報告しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 漢字と仮名を用いた表記，改行の仕方，句読点の打ち方を理解している。	(1)ウ，エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ウ，エ
思・判・表	○ いちばん伝えたいことを中心に，内容のまとまりごとに文章の構成を考えている。	B(1)イ，ウ，エ (2)ア
	○ 自分の伝えるものの特徴を生かした組み立てを考え，書き表し方を工夫している。	B(1)イ，ウ，エ (2)ア
	○ 間違いを正したり，文章や資料の配置などを確認めたりして，リーフレットを整えている。	B(1)イ，ウ，エ (2)ア
	○ 調べたことをリーフレットにし，わかりやすく報告する活動をしている。	B(1)イ，ウ，エ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 見学したことや調べたことなどについて，地域の人に伝えたり，記録として残したりするために，リーフレットにしてわかりやすく報告している。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
リーフレットで知らせよう ①	1	○ 58ページ下段の「学習のすすめ方」を参考に，学習計画を立てる。	見通し
		○ どんなことを調べたいか考え，課題を見つける。	題材の設定
リーフレットで知らせよう ②	2	○ 見学したことをもとに，伝えたいことを決める。	内容の検討
		・ 見学メモを作成する。見学後疑問に思ったことを調べ，付け加える。	内容の検討
リーフレットで知らせよう ③	2	○ リーフレットの組み立てを考える。	構成の検討/考えの形成
		・ 61ページの「ここが大事」を参考にする。	構成の検討/考えの形成
リーフレットで知らせよう ④	4	○ リーフレットを作り，読み返す。	記述/推敲
		・ 62・63ページを参考にする。	記述/推敲
リーフレットで知らせよう ⑤	1	○ リーフレットを読み合う。	共有
		○ 63ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	4	教出	上	64 ~ 69	4	6 ~ 6	

大単元(題材名)	声に出して読み、感想をまとめましょう。		
中単元(曲名)	短歌の世界		
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと		
関連する道徳の内容項目	C 伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度	D 自然愛護	

【到達目標】

知・技	○ 易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりして，言葉の響きやリズムに親しむことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫することができる。
	○ 短歌を読んで，感じたことや想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 短歌の形式やその内容の大体を知るとともに，音読してその響きを味わい，短歌への親しみをもとうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 短歌を音読したり暗唱したりして，言葉の響きやリズムに親しんでいる。	(1)エ (3)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (3)ア
思・判・表	○ 気に入った短歌を選び，それに対する感想の書き表し方を工夫している。	B(1)ウ (2)ウ
	○ 短歌を読んで，感じたことや想像したことを書く活動をしている。	B(1)ウ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 短歌の形式やその内容の大体を知るとともに，音読してその響きを味わい，短歌への親しみをもとうとしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
短歌の世界①	3	○ 短歌の形式や歴史，内容の大体を知り，音読する。	構造と内容の把握
		・ 時代順に並べられた7編の短歌を，その内容を思い浮かべながら音読する。	精査・解釈
短歌の世界②	1	○ 気に入った短歌を選び，視写したり，感想を書いたりする。	考えの形成

2023	年度								
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ		配当時数		配当月	
国語	4	教出	上	72	~ 72	2		7	~ 7

大単元(題材名)	三年生で学んだ漢字②		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	○ 病院の中の様子と自分の経験を重ね合わせて、書き表し方を工夫することができる。
	○ 3年生で学んだ漢字を使って、病院の中の様子を書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 72ページの絵の中の言葉と3年生で学んだ漢字をもとに、病院の中の様子を具体的に文章に書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 3年生で習った漢字を使って、文や文章を書いている。	(1)エ
思・判・表	○ 病院の中の様子と自分の経験を重ね合わせて、書き表し方を工夫している。	B(1)ウ (2)ウ
	○ 72ページに出ている漢字を使って、病院の中の様子を書いている。	B(1)ウ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 72ページの絵の中の言葉と3年生で学んだ漢字をもとに、病院の中の様子を具体的に書いている。	

【学習活動】

[illegible]

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	4	教出	上	74	~ 91	10	7 ~ 7

大単元(題材名)	四 登場人物のせいにかくや、気持ちを想像して読もう		
中単元(曲名)	そろそろ(落語)		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	A話すこと・聞くこと	
関連する道徳の内容項目	A正直，誠実	C伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度	

【到達目標】

知・技	○ 言葉の抑揚や強弱，間の取り方などに注意して話すことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 登場人物の行動や気持ちなどについて，叙述をもとに捉えることができる。
	○ 登場人物の気持ちの変化や性格を，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。
	○ 物語などを読み，内容を説明したり，考えたことなどを伝え合ったりする活動ができる。
	○ 話の中心や話す場面を意識して，言葉の抑揚や強弱，間の取り方などを工夫することができる。
	○ 落語を音読したり，演じたり，また，それらを聞いたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 会話をとおして，茶店の老夫婦，客，床屋の親方の様子や気持ちを想像しながら，音読したり演じたりしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 言葉の抑揚や強弱，間の取り方などに注意して落語を朗読したり，演じたりしている。	(1)イ，エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)イ，エ
思・判・表	○ 登場人物の行動や気持ちなどについて，叙述をもとに捉えている。	C(1)イ，エ (2)イ
	○ 登場人物の気持ちの変化や性格を，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	C(1)イ，エ (2)イ
	○ 落語を読み，内容を説明したり，感じたことを話し合ったりする活動をしている。	C(1)イ，エ (2)イ
	○ 話の中心や話す場面を意識して，言葉の抑揚や強弱，間の取り方などを工夫している。	A(1)ウ (2)ア
	○ 落語を音読したり，演じたり，また，それらを聞いたりする活動をしている。	A(1)ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 茶店のじいさんと床屋の親方は，どのような性格か，それぞれの台詞をもとに話し合っている。	
	○ 音読したり，演じたりするとき，いちばん盛り上げたい場面はどこか。また，どのような工夫ができるか考えている。	
	○ 会話をとおして，茶店の老夫婦，客，床屋の親方の様子や気持ちを想像しながら，音読したり演じたりしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
そろそろ①	1	○ 全文を読み, 「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
そろそろ②	1	○ この落語にはどのような繰り返しがあるか, また, おもしろいところはどこか考える。	構造と内容の把握
そろそろ③	3	○ お稲荷さんの御利益は, 初めと後ではどのように変わったか。	精査・解釈
		○ 茶店のじいさんと床屋の親方は, どのような性格か, それぞれの台詞をもとに話し合う。	精査・解釈
そろそろ④	2	○ 音読したり演じたりするとき, いちばん盛り上げたい場面はどこか, また, どのような工夫ができるか考える。	考えの形成
そろそろ⑤	3	○ 好きな場面を選んで, 音読したり, 落語のように演じたりする。	表現
		・ 音読記号を使って, 工夫して音読したり, 演じたりする。	表現
		・ 友達の表現の工夫を話し合う。	共有
		○ 91ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	4	教出	上	94	～	97	6
							9

大単元(題材名)	五 写真などの図のよさを知り、活用しよう		
中単元(曲名)	写真をもとに話そう		
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	B 相互理解，寛容	D 自然愛護	

【到達目標】

知・技	○ 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 相手に伝わるように、事例を挙げながら、話の構成を考えることができる。
	○ 話の中心を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。
	○ 説明や報告など調べたことを話したり、それらを聞いたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 写真を見て気づいたことや想像したことを整理してまとめ、発表しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話している。	(1)イ，エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)イ，エ
思・判・表	○ 写真を見て気づいたことや想像したことをもとに、話の構成を考えている。	A(1)イ，ウ (2)ア
	○ 話の中心を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。	A(1)イ，ウ (2)ア
	○ 写真を見て気づいたことや想像したことを話したり、それらを聞いたりする活動をしている。	A(1)イ，ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 写真を見て気づいたことや想像したことを整理してまとめ、発表しようとしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
写真をもとに話そう①	1	○ 94ページ下段の「学習のすすめ方」を参考に、学習計画を立てる。	見通し
		○ 話すための写真を選び、よく見てみる。	話題の設定
写真をもとに話そう②	3	○ 見たことをメモにまとめる。	情報の収集
		・ 96ページの「メモ」を参考にする。	情報の収集
		○ メモをもとに組み立てを考え、発表の練習をする。	内容の検討/構成の検討
写真をもとに話そう③	2	○ 発表する。	表現
		○ 感想を伝え合う。	共有
		○ 97ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	4	教出	上	98	～	101	5
							9

大単元(題材名)	五 写真などの図のよさを知り，活用しよう		
中単元(曲名)	新聞を作ろう		
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと		
関連する道徳の内容項目	C 勤労，公共の精神／よりよい学校生活，集団生活の充実		

【到達目標】

知・技	○ 漢字と仮名を用いた表記，改行の仕方，句読点の打ち方など，文章の中で正しく使うことができる。
	○ 考えとそれを支える理由や事例，情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 読み手に伝わりやすいような，記事の配置や分量，見出しなど，書き表し方を工夫することができる。
	○ 間違いを正したり，目的を意識した表現になっているかを確認したり，文章を整えることができる。
	○ 調べたことをまとめて報告するなど，事実や考えたことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 学校生活での出来事を記事に書き，他の学年の人たちに知らせるための新聞を作ろうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 漢字と仮名を用いた表記，改行の仕方，句読点の打ち方などの正しい書き方を理解して，新聞記事の中で使っている。	(1)ウ，エ (2)ア
	○ 割り付けをもとに，記事の分量と写真・図表との関係について理解している。	(1)ウ，エ (2)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ウ，エ (2)ア
思・判・表	○ 読み手に伝わりやすいような，記事の配置や分量，見出しなど，書き表し方を工夫している。	B(1)ウ，エ (2)ア
	○ 間違いを正したり，読み手に伝わりやすい内容かを確認めたりして，文章を整えている。	B(1)ウ，エ (2)ア
	○ 調べたことを記事にするなど，事実や考えたことを書く活動をしている。	B(1)ウ，エ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 学校生活での出来事を記事に書き，他の学年の人たちに知らせるための新聞を作っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
新聞を作ろう①	2	○ 98ページ下段の「学習のすすめ方」を参考に，学習計画を立てる。	見通し
		○ グループごとに，知らせたいことを決め，記事を分担し，調べる。	題材の設定/情報の収集
新聞を作ろう②	3	○ 割り付けを考える。	内容の検討/構成の検討
		・ 「わりつけ用紙」（記事の分量，写真・図表の大きさ）を使う。	内容の検討/構成の検討
		・ 101ページ「ここが大事」を参考にする。	内容の検討/構成の検討
		○ 記事を下書きし，読み返して清書する。	記述/推敲
		○ 新聞を読み合う。	共有
		・ 廊下などの壁に貼る。	共有
		○ 101ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	4	教出	上	102	～	105	3	9	～	9

大単元(題材名)	漢字の広場③		
中単元(曲名)	送りがなのつけ方／都道府県名に用いる漢字		
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うことができる。
	○ 言い方によって形が変わる言葉の送りがなを理解し、文章の中で使うとともに語彙を豊かにすることができる。
	○ 都道府県名を知り、語彙を豊かにすることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 言い方によって形が変わる言葉の送りがなは、あとに続く言葉によって形が変わることを理解しようとする。
	○ 都道府県名を使って文を作ろうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 送りがなの付け方を理解して文や文章の中で使っている。	(1)ウ, エ, オ
	○ 言い方によって形が変わる言葉の送りがなを理解し、文章の中で使うとともに語彙を豊かにしている。	(1)ウ, エ, オ
	○ 都道府県名を知り、語彙を豊かにしている。	(1)ウ, エ, オ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ウ, エ, オ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 言い方によって形が変わる言葉の送りがなは、あとに続く言葉によって形が変わることを理解している。	
	○ 都道府県名を使って文を作っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
送りがなのつけ方	2	○ 言い方によって形が変わる言葉の送りがなを理解し、文や文章で使う。	
都道府県名に用いる漢字	1	○ 都道府県名を知り、それを使って文を作る。	

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	4	教出	上	108	～	121	9

大単元(題材名)	六 場面の様子をくらべて読み、感想をまとめよう		
中単元(曲名)	一つの花		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	C家族愛、家庭生活の充実	D生命の尊さ	

【到達目標】

知・技	○ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。
	○ 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。
	○ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。
	○ 物語を読み、内容や考えたことなどを伝え合う活動ができる。
	○ 相手や目的を意識して、想像したことを書き、伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。
	○ 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想を伝え合い、文章のよいところを見つけることができる。
	○ 感じたことや想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「戦争が激しかったころ」「父の出征」「戦後の平和な様子」など、場面の移り変わりと登場人物の心情の変化を、想像を広げながら読み、心に残った場面や出来事を中心に感想を書いて、友達に伝えようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 様子や行動、心情を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	(1)エ, オ (2)ア
	○ 戦中・戦後の時代背景と、そこに生きたゆみ子との関係について理解している。	(1)エ, オ (2)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ, オ (2)ア
思・判・表	○ ゆみ子と両親の気持ちの変化や情景について、戦中から戦後へと時代の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	C(1)エ, オ (2)イ
	○ 「一つの花」を読んで心に残ったことや出来事について、感想や考えをもっている。	C(1)エ, オ (2)イ
	○ 「一つの花」を読み、内容や考えたことなどを伝え合う活動をしている。	C(1)エ, オ (2)イ
	○ 「一つの花」という題名が表していることについての自分の考えを書き、伝えたいことを明確にしている。	B(1)ア, ウ, オ (2)ウ
	○ 「一つの花」を読み、変化した自分の思いや考えを伝えるために、書き表し方を工夫している。	B(1)ア, ウ, オ (2)ウ
	○ 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想を伝え合い、文章のよいところを見つけている。	B(1)ア, ウ, オ (2)ウ
	○ 感じたことや想像したことを書く活動をしている。	B(1)ア, ウ, オ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 戦争中、ゆみ子に対する父と母の思いの違いを話し合っている。	
	○ 戦争中と十年後の場面を表にして比較し、考えたことを話し合っている。	
	○ 「戦争が激しかったころ」「父の出征」「戦後の平和な様子」など、場面の移り変わりと登場人物の心情の変化を、想像を広げながら読み、心に残った場面や出来事を中心に感想を書いて、友達に伝えている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
一つの花①	1	○ 全文を読み, 「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
一つの花②	3	○ この物語の内容を確かめる。	構造と内容の把握
		・ 登場人物, 時代, 出来事	構造と内容の把握
一つの花③	1	○ 戦争中, ゆみ子に対する父と母の思いの違いを話し合う。	精査・解釈
一つの花④	1	○ 戦争中と十年後の場面を表にして比較し, 考えたことを話し合う。	精査・解釈
一つの花⑤	1	○ 題名「一つの花」と「一つだけのお花」「コスモスのトンネル」がどのようなことを表しているか, 話し合う。	考えの形成
一つの花⑥	2	○ 感想文を書き, 友達と読み合う。	考えの形成/共有
		・ 119ページ「広げよう」にある四つの「・」を参考にする。	考えの形成/共有
		○ 121ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	4	教出	上	126	～	131	6	10	～	10

大単元(題材名)	七 自由に想像を広げて書こう		
中単元(曲名)	「ショートショート」を書こう		
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 漢字と仮名を用いた表記，改行の仕方，句読点の打ち方を理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的を意識して，想像したことなどから書くことを選び，集めた材料を比較したり分類したりして，伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 物語をつくるなど，想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 不思議な言葉を作り，自由に想像を広げて「ショートショート」を書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 漢字と仮名を用いた表記，改行の仕方，句読点の打ち方を理解している。	(1)ウ，エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ウ，エ
思・判・表	○ 「ショートショート」を書くために，不思議な言葉をもとに想像を広げ，設定や物語の展開を考えて，伝えたいことを明確にしている。	B(1)ア (2)ウ
	○ 「ショートショート」を作るなど，想像したことを書く活動をしている。	B(1)ア (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 不思議な言葉を作り，自由に想像を広げて「ショートショート」を書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
「ショートショート」を書こう①	1	○ 126ページ下段の「学習のすすめ方」を参考に，学習計画を立てる。	見通し
「ショートショート」を書こう②	1	○ 不思議な言葉を作り，想像を広げる。	題材の設定/情報の収集
		・ ものの名前を十個→そのうち一つを選び，思いつくことを書く→組み合わせ「不思議な言葉」を作る→その言葉から想像を広げる。	題材の設定/情報の収集
「ショートショート」を書こう③	1	○ 設定や物語の展開を考える。	内容の検討/構成の検討
		・ 130ページの表を参考にする。	内容の検討/構成の検討
「ショートショート」を書こう④	2	○ 想像を広げながら，「ショートショート」を書く。	記述/推敲
		・ 始め，中，終わりのまとまりを意識する。	記述/推敲
		・ 会話や中心人物の心の声なども入れてみる。	記述/推敲
「ショートショート」を書こう⑤	1	○ 友達と読み合い，感想を伝え合う。	共有
		○ 131ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	4	教出	上	132 ~ 133	1	10	~ 10

大単元(題材名)	月のつく言葉を調べましょう。		
中単元(曲名)	「月」のつく言葉		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと		
関連する道徳の内容項目	C伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度	D自然愛護／感動，畏敬の念	

【到達目標】

知・技	○ 易しい文語調の言葉の響きやリズムに親しむことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的を意識して，集めた材料を比較したり分類したりして，伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 感じたことや想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「月」に関わる言葉を集め，日本人と月との結びつきへの理解を深めようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 「月」の付く言葉の響きやリズムに親しんでいる。	(1)エ (3)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (3)ア
思・判・表	○ 「月」の付く言葉を集めて国語辞典で調べ，どんな月かを明確にしている。	B(1)ア (2)ア
	○ 「月」の付く言葉を使って，想像したことを書く活動をしている。	B(1)ア (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 「月」に関わる言葉を集め，日本人と月との結びつきへの理解を深めている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
「月」のつく言葉	1	○ 「中秋の名月」や満ち欠けする月の呼び方を確かめる。	情報の収集
		・ 日本で昔からある月の付く言葉を集め，それぞれどんな月か調べる。	情報の収集

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	4	教出	下	6	8	10	10

大単元(題材名)	一 場面のうつり変わりと結びつけ、登場人物の変化を読む		
中単元(曲名)	ごんぎつね		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	A正直，誠実	B親切，思いやり	

【到達目標】

知・技	○ 様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，語彙を豊かにすることができる。
	○ 登場人物の心情の変化と，表現や場面との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 登場人物の気持ちの変化を場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。
	○ 物語を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもつことができる。
	○ 物語を読み，内容を説明したり，考えたことなどを伝え合ったりする活動ができる。
	○ 書く内容の中心を明確にし，内容のまとまりで段落をつくり，文章の構成を考えることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫することができる。
	○ 書こうとしたことが明確になっているかなど，文章に対する感想や意見を伝え合い，文章のよいところを見つけることができる。
	○ 感じたことや想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面や情景の移り変わりとともに変化するごんや兵十の気持ちを，行動や会話などから想像豊かに読み，そのおもしろさを「せんでんポスター」に表そうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，語彙を豊かにしている。	(1)エ，オ (2)ア
	○ ごんや兵十の心情の変化と，表現や場面との関係について理解している。	(1)エ，オ (2)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ，オ (2)ア
思・判・表	○ ごんや兵十の気持ちの変化を場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	C(1)エ，オ (2)イ
	○ 物語を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもっている。	C(1)エ，オ (2)イ
	○ 物語を読み，ごんや兵十の心情の変化を説明したり，考えたことなどを伝え合ったりしている。	C(1)エ，オ (2)イ
	○ 「ごんぎつね」を勧めるために，題名を考え，「せんでんポスター」の構成を考えている。	B(1)イ，ウ，オ (2)ウ
	○ 「せんでんポスター」を書くために，読んだ感想や考えを明確にして，書き表し方を工夫している。	B(1)イ，ウ，オ (2)ウ
	○ 「ごんぎつね」を勧めているかなど，ポスターに対する感想や意見を伝え合っている。	B(1)イ，ウ，オ (2)ウ
	○ 「せんでんポスター」を通して，感じたことや想像したことを書く活動をしている。	B(1)イ，ウ，オ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ ごんの気持ちがわかる表現を場面ごとに書き出し，その変化を話し合っている。	
	○ ごんと兵十の気持ちがいちばん近づいたのはどこか，話し合っている。	
	○ 場面や情景の移り変わりとともに変化するごんや兵十の気持ちを，行動や会話などから想像豊かに読み，そのおもしろさを「せんでんポスター」に表そうとしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
ごんぎつね①	1	○ 全文を読み, 「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
ごんぎつね②	2	○ ごんと兵十の人柄について, 「1」の場面から話し合う。	構造と内容の把握
		○ ごんの気持ちがわかる表現を場面ごとに書き出し, その変化を話し合う。	精査・解釈
ごんぎつね③	2	○ 兵十はごんをどう思っていたか, 初めと終わりの場面で比べる。	精査・解釈
		○ ごんと兵十の気持ちがいちばん近づいたのはどこか, 話し合う。	精査・解釈
ごんぎつね④	1	○ ごんと兵十の心のつながりについて, 思ったことをノートに書いて紹介し合う。	考えの形成
ごんぎつね⑤	2	○ 「ごんぎつね」を紹介するポスターを作る。	表現
		・ ポスターの題名を考え, 友達と読み合う。	共有
		○ 27ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	4	教出	下	28	～	31	5
							10
							～
							10

大単元(題材名)	「読書発表会」をしよう		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	C読むこと		
関連する道徳の内容項目	A個性の伸長		

【到達目標】

知・技	○ 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解し使うことができる。
	○ 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。
	○ 詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動ができる。
	○ 学校図書館などを利用し、わかったことなどをまとめて説明する活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 自分のテーマと、紹介したい本のよさやおもしろさがわかるように、組み立てを工夫して「読書発表会」をしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 数冊の本を紹介するために、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解し使っている。	(1)エ (2)イ (3)オ
	○ 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。	(1)エ (2)イ (3)オ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)イ (3)オ
思・判・表	○ 「読書発表会」を通して感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	C(1)カ (2)イ, ウ
	○ 詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動をしている。	C(1)カ (2)イ, ウ
	○ 学校図書館などを利用し、紹介したい本をまとめて説明する活動をしている。	C(1)カ (2)イ, ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 自分のテーマと、紹介したい本のよさやおもしろさがわかるように、組み立てを工夫して「読書発表会」をしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
「読書発表会」をしよう①	1	○ 教材を読み、学習活動の大体をつかむ。	見通し
「読書発表会」をしよう②	2	○ 「読書発表会」の準備をする。	考えの形成
		・ 発表のテーマに沿って本を集める。	考えの形成
		・ 紹介する本の順番を決め、組み立てメモをもとに、発表内容を考える。	考えの形成
「読書発表会」をしよう③	2	○ 「読書発表会」をする。	共有

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	4	教出	下	32	4	11	11

大単元(題材名)	言葉が表す感じ, 言葉から受ける感じ		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	A 個性の伸長	B 親切, 思いやり	

【到達目標】

知・技	○ 言葉には, 考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。
思・判・表	○ 相手に伝わるように, 言葉から受ける感じを生かした話の構成を考えることができる。
	○ 互いの考えを伝えるなどして, グループや学級全体で話し合う活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 言葉が伝える感じに注意して, リズムや抑揚に気をつけながら言葉を選ぶなど, 言葉の特性を考えて話そうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 言葉には, その表現や語感・リズムから感じられるイメージを表す働きがあることに気づいている。	(1)ア
思・判・表	○ 相手に伝わるように, 言葉から受ける感じを生かした話の構成を考えている。	A(1)イ (2)ウ
	○ その言葉や表現がどのような感じを与えるかを考えながら話し合う活動をしている。	A(1)イ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 言葉が伝える感じに注意して, リズムや抑揚に気をつけながら言葉を選ぶなど, 言葉の特性を考えて話している。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
言葉が表す感じ, 言葉から受ける感じ①	2	○ 言葉によって伝わる感じの違いがあることを理解する。	考えの形成
		・ 組になった2つの言葉を集め, その感じ方の違いを話し合う。	考えの形成
		・ 例; 「ぱたり・ぱたり」「ポンポン・ポンポン」「さらり・ざらり」	考えの形成
言葉が表す感じ, 言葉から受ける感じ②	2	○ 特徴が表れる言葉を考えて, 受ける感じについて話し合う。	考えの形成
		・ 「自分が考えたおかし」の名前を発表し, 名前から伝わる感じについて話し合う。	考えの形成

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	4	教出	下	36	8	11	11

大単元(題材名)	二 目的や進め方をたしかめて話し合おう		
中単元(曲名)	新スポーツを考えよう		
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	B 相互理解，寛容	C 規則の尊重	

【到達目標】

知・技	○ 言葉には，考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。
	○ 相手を見て話したり聞いたりするとともに，言葉の抑揚や強弱，間の取り方などに注意して話すことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的や進め方を確認し，司会などの役割を果たしながら話し合い，互いの意見の共通点や相違点に着目して，考えをまとめることができる。
	○ 互いの考えを伝えるなどして，グループや学級全体で話し合う活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 目的や進め方を確かめて，司会や提案・記録の役割を果たしながら話し合おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 言葉には，考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。	(1)エ (2)ア，イ
	○ 相手を見て話したり聞いたりするとともに，自分の意見を積極的に話している。	(1)エ (2)ア，イ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)ア，イ
思・判・表	○ 目的や進め方を確認し，司会などの役割を果たしながら話し合い，互いの意見の共通点や相違点に着目して，クラスの意見をまとめている。	A(1)オ (2)ウ
	○ 互いの考えを伝えるなどして，学級全体で話し合う活動をしている。	A(1)オ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 目的や進め方を確かめて，司会や提案・記録の役割を果たしながら話し合おうとしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
新スポーツを考えよう①	1	○ 36ページ下段の「学習の進め方」を参考に，学習計画を立てる。	見通し
新スポーツを考えよう②	1	○ だれと・どんな新スポーツをやりたいか，みんなからアンケートを取る。	話題の設定/情報の収集
		・ 希望の多いものから二つほど選んでおく。	話題の設定/情報の収集
新スポーツを考えよう③	1	○ 「役わり」を決める。	話し合いの進め方の検討
		・ 司会者は進行を，提案者はアンケートで選んだ新スポーツについて提案理由を考える。	話し合いの進め方の検討
新スポーツを考えよう④	1	○ 話し合いをする。	考えの形成
		・ 40ページの黒板記録の取り方を参考にする。	考えの形成
新スポーツを考えよう⑤	1	○ 話し合いをふり返る。	共有
新スポーツを考えよう⑥	2	○ 「役わり」を変えて，別の新スポーツについて提案し，話し合う。	話し合いの進め方の検討/考えの形成
新スポーツを考えよう⑦	1	○ 話し合いをふり返る。	共有
		○ 41ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	4	教出	下	46	～	57	9	11	～	11

大単元(題材名)	三 大事な言葉や文に気をつけて要約しよう		
中単元(曲名)	ウミガメの命をつなぐ		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	D生命の尊さ／自然愛護		

【到達目標】

知・技	○ 考えとそれを支える理由や事例、情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解し使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。
	○ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。
	○ 記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、わかったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動ができる。
	○ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、文章の構成を考えることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。
	○ 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合うことができる。
	○ 事実やそれをもとに考えたことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 名古屋港水族館による、ウミガメの生活や成長の様子の研究や実験について読み、興味をもったことを要約し、その内容を紹介する文章を書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 筆者の考えとそれを支える研究や実験など、情報と情報との関係について理解している。	(1)エ (2)ア、イ
	○ 必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解し使っている。	(1)エ (2)ア、イ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)ア、イ
思・判・表	○ 中心となる語や文を見つけて要約している。	C(1)ウ、オ (2)ア
	○ 「ウミガメの命をつなぐ」を読んで、書かれた事柄に興味をもっている。	C(1)ウ、オ (2)ア
	○ 「ウミガメの命をつなぐ」を読み、文章の一部を引用して、わかったことや考えたことを説明する活動をしている。	C(1)ウ、オ (2)ア
	○ 「ウミガメの命をつなぐ」の要約をするために、大事な言葉や文をもとに、文章の構成を考えている。	B(1)イ、ウ、オ (2)ア
	○ 「ウミガメの命をつなぐ」で興味をもったことを紹介するために、要約を取り入れて書き表し方を工夫している。	B(1)イ、ウ、オ (2)ア
	○ 友達がどんなことに興味をもったかに気をつけて、文章に対する感想や意見を伝え合っている。	B(1)イ、ウ、オ (2)ア
	○ 読んだことやそれをもとに考えたことを書く活動をしている。	B(1)イ、ウ、オ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 名古屋港水族館のウミガメ研究をまとめている。	
	○ この説明文を読んで、興味をもった事柄を確かめている。	
	○ 名古屋港水族館による、ウミガメの生活や成長の様子の研究や実験について読み、興味をもったことを要約し、その内容を紹介する文章を書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
ウミガメの命をつなぐ①	1	○ 全文を読み, 「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
ウミガメの命をつなぐ②	1	○ 題名や写真・図を見て, 考えたことを話し合う。	構造と内容の把握
ウミガメの命をつなぐ③	3	○ 名古屋港水族館のウミガメ研究をまとめる。	精査・解釈
		・ どんな研究, いつ・どんなこと, 明らかになったこと・課題など	精査・解釈
ウミガメの命をつなぐ④	1	○ この説明文を読んで, どんなことに興味をもったか考える。	考えの形成
		・ ウミガメの長い旅, 水族館の研究の仕方, 筆者の説明の仕方など	考えの形成
		○ 興味をもったことの, 大事な言葉や文を書き出す。	考えの形成
ウミガメの命をつなぐ⑤	2	○ それらの言葉や文をもとに, 興味をもったことを中心に, この説明文を要約する。	考えの形成
		・ 57ページの「ここが大事」を参考にする。	考えの形成
		○ 要約文を取り入れて, この説明文で興味をもったことを紹介する文を書く。	考えの形成
ウミガメの命をつなぐ⑥	1	○ 友達がどんなことに興味をもったか, 紹介文を読み合う。	共有
		○ 57ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	4	教出	下	58	~	59	2	12	~	12

大単元(題材名)	二つの事柄をつなぐ		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 接続する語句の役割について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 二つの事柄をつなぐ言葉（接続語）の働きや使い方を理解し、文や文章で使おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 接続する語句の役割について理解している。	(1)工, カ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)工, カ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 二つの事柄をつなぐ言葉（接続語）の働きや使い方を理解し、文や文章で使っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
二つの事柄をつなぐ	2	○ 二つの事柄をつなぐ言葉（接続語）の働きや使い方を知る。	
		・ 二つの事柄の意味を考えて、二つの事柄をつなぐ言葉をあてはめたり、つなげたりして、理解を深める。	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	4	教出	下	60	6	12	12

大単元(題材名)	四 調べたことをわかりやすく書こう		
中単元(曲名)	「不思議ずかん」を作ろう		
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと		
関連する道徳の内容項目	B 相互理解，寛容	C よりよい学校生活，集団生活の充実	

【到達目標】

知・技	○ 必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方，辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 間違いを正したり，相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして，文や文章を整えることができる。
	○ 書こうとしたことが明確になっているかなど，文章に対する感想や意見を伝え合い，文章のよいところを見つけることができる。
	○ 調べたことをまとめて報告するなど，事実やそれをもとに考えたことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りの不思議を集め，図や写真を利用して，読む人にわかりやすく，おもしろい「不思議ずかん」を作ろうとしている。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 題材について取材したことをメモする方法や，パソコンや事典などで調べる方法を理解し使っている。	(1)エ (2)イ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)イ
思・判・表	○ 間違いを正したり，読む人を考えた言葉づかいやわかりやすい言葉に言いかえたりして，文や文章を整えている。	B(1)エ，オ (2)ア
	○ 題名や書き出しを工夫しているか，むずかしい言葉に説明を加えているかなど，感想や意見を伝え合い，原稿のよいところを見つけている。	B(1)エ，オ (2)ア
	○ 「不思議ずかん」を作るために，事実やそれをもとに調べたり考えたりしたことを書く活動をしている。	B(1)エ，オ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りの不思議を集め，図や写真を利用して，読む人にわかりやすく，おもしろい「不思議ずかん」を作っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
「不思議ずかん」を作ろう ①	1	○ 60ページ下段の「学習の進め方」を参考に，学習計画を立てる。	見通し
		○ 「不思議ずかん」に載せるものを決め，調べる。	題材の設定
		・ 身の回りの不思議を集め，書きたいこと(題材)を選ぶ。	題材の設定
「不思議ずかん」を作ろう ②	1	○ 題材について取材する。	情報の収集
		・ 取材メモなどを活用する。	情報の収集
「不思議ずかん」を作ろう ③	2	○ 組み立て表を作り，グループの友達と話し合う。	内容の検討/構成の検討
		・ グループの友達の組み立て表に対しても考えを言う。	内容の検討/構成の検討
「不思議ずかん」を作ろう ④	1	○ 「不思議ずかん」の原稿を書き，読み返す。	記述/推敲
「不思議ずかん」を作ろう ⑤	1	○ グループで発表し合う。	共有
		・ そのあと，クラスでまとめ，「不思議ずかん」を作る。	共有
		○ 64ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	4	教出	下	66	4	12	12

大単元(題材名)	故事成語を集めて意味を調べ、カードにまとめましょう。		
中単元(曲名)	故事成語		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと		
関連する道徳の内容項目	C伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度／国際理解，国際親善		

【到達目標】

知・技	○ 易しい文語調の故事成語を音読して，言葉の響きやリズムに親しむことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 故事成語の意味や成り立ちを明確にして，「故事成語カード」の書き表し方を工夫することができる。
	○ 「故事成語カード」を書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 故事成語の成り立ちや意味を知り，他の故事成語を集めて「故事成語カード」などを作り，文や文章で正しく使おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 易しい文語調の故事成語を音読して，言葉の響きやリズムに親しんでいる。	(1)エ (3)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (3)ア
思・判・表	○ 故事成語の意味や成り立ちを明確にして，「故事成語カード」の書き表し方を工夫している。	B(1)ウ (2)ア
	○ 「故事成語カード」を書く活動をしている。	B(1)ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 故事成語の成り立ちや意味を知り，他の故事成語を集めて「故事成語カード」などを作り，文や文章で正しく使っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
故事成語①	1	○ 全文を読み，故事成語の概略をつかむ。	見通し
故事成語②	1	○ 故事成語の成り立ちや意味を知り，文中で使う。	内容の検討
		・ 五十歩百歩，漁夫の利，蛇足，矛盾	内容の検討
故事成語③	2	○ いろいろな故事成語を集め，辞典などでその意味を調べ，71ページのような「故事成語カード」を作る。	考えの形成

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	4	教出	下	72 ~ 77	2	1 ~ 1	

大単元(題材名)	詩を楽しもう		
中単元(曲名)	いろいろな詩／おおきな木／とびばこ だんだん		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと		
関連する道徳の内容項目	A希望と勇気, 努力と強い意志	D自然愛護／感動, 畏敬の念	

【到達目標】

知・技	○ 詩の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。
思・判・表	○ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。
	○ 詩を読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ いろいろな形の詩を読み、詩の世界を広げながら、その世界を読み味わおうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 詩の構成や内容をイメージしながら音読している。	(1)ク
思・判・表	○ 詩を読んで感じたことや想像したことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	C(1)カ (2)イ
	○ 詩を読み、イメージを広げたり、感じたことなどを伝え合ったりしている。	C(1)カ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ いろいろな形の詩を読み、詩の世界を広げながら、その世界を読み味わっている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
いろいろな詩／おおきな木／とびばこ だんだん①	1	○ 4つの詩を繰り返し音読し、感じたことを発表し合う。	精査・解釈
いろいろな詩／おおきな木／とびばこ だんだん②	1	○ 気に入った詩を選び、内容をイメージしながら音読し合う。	共有

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	4	教出	下	78	~	79	2	1	~	1

大単元(題材名)	漢字の広場⑤		
中単元(曲名)	熟語のでき方		
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 第4学年までに配当されている漢字を読むことや、文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 二つ以上の漢字が結びついてできた言葉（熟語）の、漢字の組み合わせの仕方を理解しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

	対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
	(1)工
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 二つ以上の漢字が結びついてできた言葉（熟語）の、漢字の組み合わせの仕方を理解している。

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
熟語のでき方	2	○ 熟語のでき方、組み立てを理解する。	
		・ 上の漢字が下の漢字を修飾する熟語	
		・ 意味のうえでつながりのある漢字がならぶ熟語…「にた意味の漢字の組み合わせ」「反対の意味の漢字の組み合わせ」	

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	4	教出	下	84	~	93	6	1	~	1

大単元(題材名)	五 自分の経験と結びつけて考えよう		
中単元(曲名)	「便利」ということ		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	B親切, 思いやり		

【到達目標】

知・技	○ 考えとそれを支える理由や事例, 情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 引用の仕方や出典の示し方を理解し使うことができる。
	○ 読書が, 必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 文章を読んで理解したことに基づいて, 感想や考えをもつことができる。
	○ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し, 一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。
	○ 記録や報告などの文章を読み, 文章の一部を引用して, 考えたことを説明する活動ができる。
	○ 事典や図鑑などから情報を得て, わかったことなどをまとめて説明する活動ができる。
	○ 書く内容の中心を明確にし, 内容のまとまりで段落をつくり, 文章の構成を考えることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして, 書き表し方を工夫することができる。
	○ 文章に対する感想や意見を伝え合い, 文章のよいところを見つけることができる。
	○ 感じたことや想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「便利」「不便」について, 文章の内容を整理しながら筆者の考えを読み, 身の回りの「便利」について考えをまとめて書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 「便利」に対する筆者の考えとそれを支える事例について理解している。	(1)エ (2)ア, イ (3)オ
	○ 引用の仕方を理解し, 「便利」について考えた文章に使っている。	(1)エ (2)ア, イ (3)オ
	○ 読書が, 必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。	(1)エ (2)ア, イ (3)オ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)ア, イ (3)オ
思・判・表	○ 身の回りの道具や設備から, 自分の経験と結びつけて「便利」についての考えをもっている。	C(1)オ, カ (2)ア, ウ
	○ 「便利」について書いた文章を読み合い, 一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	C(1)オ, カ (2)ア, ウ
	○ 「『便利』ということ」を読み, 文章の一部を引用して, 考えたことを説明する活動をしている。	C(1)オ, カ (2)ア, ウ
	○ 事典や図鑑などから情報を得たり, 自分の経験と結びつけたりしてわかったことなどをまとめて説明している。	C(1)オ, カ (2)ア, ウ
	○ 身の回りの道具や設備から, 「便利」について考えたことを書くために, 文章の構成を考えることができる。	B(1)イ, ウ, オ (2)ウ
	○ 自分の考えとそれを支える理由を明確にしたり, 「『便利』ということ」から引用したりして書き表し方を工夫している。	B(1)イ, ウ, オ (2)ウ
	○ 「便利」について書いた文章を読み合い, 感想や意見を伝え合っている。	B(1)イ, ウ, オ (2)ウ
	○ 感じたことや考えたことを書く活動をしている。	B(1)イ, ウ, オ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 同じものでも, 人によって「便利」「不便」が異なることを読み取っている。	
	○ 「便利」に対する考え方が, 少し前と今ではどのように変わってきたか理解している。	
	○ 「便利」「不便」について, 文章の内容を整理しながら, 筆者の考えを読み, 身の回りの「便利」について考えをまとめて書こうとしている。	

【学習活動】			
小単元名	時数	学習活動	学習の過程
「便利」ということ①	1	○ 全文を読み, 「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
		○ 筆者が「便利」について改めて考えてみようと思ったのはなぜか確かめる。	構造と内容の把握
「便利」ということ②	2	○ 以下のものは, どのような人にとって「便利」「不便」なのか考える。	精査・解釈
		・ げんかんのチャイム, いろいろなはさみ, いろいろな歩道橋	精査・解釈
「便利」ということ③	1	○ 「便利」に対する考え方がどのように変わってきたか考える。	精査・解釈
「便利」ということ④	1	○ 身の回りの道具や設備から, 「便利」について考えたことを書く。	考えの形成
		・ 自分の考える「便利」がほかの人にも当てはまるか。	考えの形成
		・ 「『便利』ということ」の文章で, 使える部分を引用する。	考えの形成
「便利」ということ⑤	1	○ 「便利」について書いた文章を読み合い, 感想を話し合う。	共有
		○ 93ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	4	教出	下	94	8	1	1

大単元(題材名)	五 自分の経験と結びつけて考えよう		
中単元(曲名)	調べてわかったことを発表しよう		
主領域／領域／内容の区分	A話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	B親切, 思いやり		

【到達目標】

知・技	○ 比較や分類の仕方, 必要な語句などの書き留め方, 引用の仕方や出典の示し方を理解し使うことができる。
思・判・表	○ 話の中心や話す場面を意識して, 言葉の抑揚や強弱, 間の取り方などを工夫することができる。
	○ 情報を集めたり, それらを発表したりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 身近にある道具や設備の「便利」について調べ, 写真や図, 表やグラフなどを使ってわかりやすく発表しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 調べたことのメモの仕方, 比較や分類の方法, 資料の引用の仕方や出典の示し方を理解し使っている。	(2)イ
思・判・表	○ 聞き手にとってわかりやすいように, 言葉の抑揚や強弱, 間の取り方などを工夫している。	A(1)ウ (2)イ
	○ 身の回りの道具や設備について「便利」だと感じる点を調べたり, それらを発表したりする活動をしている。	A(1)ウ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 身近にある道具や設備の「便利」について調べ, 写真や図, 表やグラフなどを使ってわかりやすく発表している。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
調べてわかったことを発表しよう①	1	○ 94ページ下段の「学習の進め方」を参考に, 学習計画を立てる。	見通し
調べてわかったことを発表しよう②	3	○ グループごとに, 調べることを決め, 資料を集める。	話題の設定/情報の収集
		○ 発表の組み立てを考え, 「発表計画表」を作り, 練習する。	内容の検討
		・ 96ページを参考にする。	内容の検討
調べてわかったことを発表しよう③	3	○ 「発表計画表」にもとづいて発表会をする。	表現
		・ 引用の仕方, 出典の示し方を工夫する。	表現
		・ 101ページ「ここが大事」を参考にする。	表現
調べてわかったことを発表しよう④	1	○ 発表の後, 質問や感想を伝える。	共有
		○ 101ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	4	教出	下	102	~	103	2	2	~	2

大単元(題材名)	点 (,) を打つところ		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 句読点を適切に打つことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 読点の打つところと、その理由を理解しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 読点を適切に打っている。	(1)ウ, エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ウ, エ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 読点の打つところと、その理由を理解している。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
点 (,) を打つところ	2	○ 読点の働きと、その打ち方を理解する。	
		・ 点の打ち方によって、意味が変わってくる。	
		・ 文が長いときなど、読みやすくするため。	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	4	教出	下	104	9	2	2

大単元(題材名)	六 伝えたいことをはっきりさせて書こう		
中単元(曲名)	自分の成長をふり返って		
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと		
関連する道徳の内容項目	A 個性の伸長		

【到達目標】

知・技	○ 漢字と仮名を用いた表記，送り仮名の付け方，改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに，句読点を適切に打つことができる。
	○ 主語と述語との関係，修飾と被修飾との関係，指示する語句と接続する語句の役割，段落の役割について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫することができる。
	○ 間違いを正したり，相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして，文や文章を整えることができる。
	○ 書こうとしたことが明確になっているかなど，文章に対する感想を伝え合い，文章のよいところを見つけることができる。
	○ 事実やそれをもとに考えたことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 自分の成長をふり返って，中心となる場面の様子が伝わるように，組み立てや表現を工夫して書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 漢字と仮名を用いた表記，送り仮名の付け方，改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに，句読点を適切に打っている。	(1)ウ，エ，カ
	○ 主語と述語との関係，修飾と被修飾との関係，指示する語句と接続する語句の役割，段落の役割について理解している。	(1)ウ，エ，カ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ウ，エ，カ
思・判・表	○ 自分の行動や周りの様子，その時の気持ちや心の動きを明確にして，書き表し方を工夫している。	B(1)ウ，エ，オ (2)ア
	○ 間違いを正したり，自分がいちばん伝えたいことをはっきりさせた表現になっているかを確かめたりして，文章を整えている。	B(1)ウ，エ，オ (2)ア
	○ 気持ちがよく伝わってきたところ，書き方で工夫しているところなど，文章に対する感想を伝え合い，文章のよいところを見つけている。	B(1)ウ，エ，オ (2)ア
	○ 自分の成長をふり返って，事実やそれをもとに考えたことを書く活動をしている。	B(1)ウ，エ，オ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 自分の成長をふり返って，中心となる場面の様子が伝わるように，組み立てや表現を工夫して書こうとしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
自分の成長をふり返って①	1	○ 104ページ下段の「学習の進め方」を参考に、学習計画を立てる。	見通し
自分の成長をふり返って②	1	○ 自分の成長を感じたできごとを思い出し、書くことを決める。	題材の設定
自分の成長をふり返って③	3	○ 組み立て表を書き、グループ内で意見を交換し合う。	内容の検討/構成の検討
		・ 105ページの「表」を参考にする。「始め・中・終わり」	内容の検討/構成の検討
自分の成長をふり返って④	2	○ 組み立て表をもとに文章を書く。	記述
自分の成長をふり返って⑤	1	○ 文章を読み返し、必要な修正をする。	推敲
自分の成長をふり返って⑥	1	○ グループ内で文章を読み合い、感想を伝え合う。	共有
		○ 109ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	4	教出	下	112 ~ 113	2	2	~ 2

大単元(題材名)	漢字の広場⑥					
中単元(曲名)	同じ読み方の漢字の使い分け					
主領域／領域／内容の区分						
関連する道徳の内容項目						

【到達目標】

知・技	○ 漢字と仮名を用いた表記，送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 同じ読み方の言葉や，同じ音や訓の漢字の意味のちがいを理解し，文の中で正しく使おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 漢字と仮名を用いた表記，送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使っている。	(1)ウ，エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ウ，エ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 同じ読み方の言葉や，同じ音や訓の漢字の意味のちがいを理解し，文の中で正しく使っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
同じ読み方の漢字の使い分け	2	○ 同じ読み方の漢字の意味のちがいを知り，文の中で正しく使う。	
		・ 同じ読み方の漢字の意味を国語辞典で調べたり，短文を作ったりする。	
		・ 別の言葉に言い換えて，同じ読みの漢字の使い方を確かめる。	

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	4	教出	下	116	～	141	8
							3
							3

大単元(題材名)	七 場面のうつり変わりと、登場人物の気持ちの変化を読む		
中単元(曲名)	木竜うるし（人形げき）		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	A正直、誠実	B友情、信頼	

【到達目標】

知・技	○ 脚本を読み、気がついたことや考えたことをわかりやすいように話すことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 脚本を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができる。
	○ 脚本を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。
	○ 脚本を読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動ができる。
	○ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。
	○ 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、文章のよいところを見つけることができる。
	○ 詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 権八の気持ちの移り変わりやその理由を考えながら読むとともに、気に入った場面について情景や人物の気持ちを想像しながら、脚本を物語のように書き換えようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 脚本を読み、気がついたことや考えたことをわかりやすいように話している。	(1)イ、エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)イ、エ
思・判・表	○ 脚本を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。	C(1)オ、カ (2)イ
	○ 脚本をもとに物語のように書き換えた文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	C(1)オ、カ (2)イ
	○ 脚本を読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりしている。	C(1)オ、カ (2)イ
	○ 「木竜うるし」の気に入った場面を、物語のように書き換えるために、文章の構成を考えている。	B(1)イ、ウ、オ (2)ウ
	○ 脚本を物語のような文章にするために、ト書きを地の文にしたり、せりふを会話文にしたりして、書き表し方を工夫している。	B(1)イ、ウ、オ (2)ウ
	○ 脚本を物語のように書き換えた文章に対する感想や意見を伝え合い、文章のよいところを見つけている。	B(1)イ、ウ、オ (2)ウ
	○ 脚本を物語のように書き換えるなど、想像したことを書く活動をしている。	B(1)イ、ウ、オ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面ごとに、できごとを大まかに表にまとめている。	
	○ 権八の考えや気持ちの変化を、それがわかるせりふと、その訳をノートにまとめている。	
	○ 権八の気持ちの移り変わりやその理由を考えながら読むとともに、気に入った場面について情景や人物の気持ちを想像しながら、脚本を物語のように書き換えている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
木竜うるし①	2	○ 全文を読み, 「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
		○ 「一」の場面から, 権八と藤六の性格について話し合う。	構造と内容の把握
		○ グループごとに役を決めて, 「一」の場面を音読する。	構造と内容の把握
木竜うるし②	2	○ 場面ごとに, できごとを大まかに表にまとめる。	構造と内容の把握
木竜うるし③	2	○ 権八の考えや気持ちの変化を, それがわかるせりふと, その訳をノートにまとめ, 発表する。	精査・解釈
		○ 権八の考えや気持ちが変わったのはなぜか, 話し合う。	考えの形成
木竜うるし④	2	○ 気に入った場면을, 物語のように書き換えて, 脚本との違いを話し合う。	記述/共有
		○ 141ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	4	教出	下	142	2	3	3

大単元(題材名)	国語の学習		
中単元(曲名)	これまで これから		
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	
関連する道徳の内容項目	A 希望と勇気，努力と強い意志		

【到達目標】	
知・技	○ 相手を見て話したり聞いたりするとともに，言葉の抑揚や強弱，間の取り方など，この1年の国語学習で学んだことに注意して話することができる。
思・判・表	○ 話の中心や話す場面を意識して，言葉の抑揚や強弱，間の取り方など，この1年の国語学習で学んだことを工夫することができる。 ○ 質問するなどして情報を集めたり，それらを発表したりする活動ができる。 ○ この1年間の学習をふり返って，自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫することができる。 ○ 調べたことをまとめて報告するなど，事実やそれをもとに考えたことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ この1年間の国語の学習をふり返りながら，これからの学習でどんな活動をしてみたいかを話し合おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 相手を見て話したり聞いたりするとともに，言葉の抑揚や強弱，間の取り方など，この1年の国語学習で学んだことに注意して話している。	(1)イ
思・判・表	○ 話の中心や話す場面を意識して，言葉の抑揚や強弱，間の取り方など，この1年の国語学習で学んだことを工夫している。 ○ 友達の思い出について質問したり，それについて自分の考えを発表したりする活動をしている。 ○ この1年間の学習をふり返って，自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫している。 ○ これまでの学習をまとめ，事実やそれをもとに考えたことを書く活動をしている。	A(1)ウ (2)ア A(1)ウ (2)ア B(1)ウ (2)ア B(1)ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ この1年間の国語の学習をふり返りながら，これからの学習でどんな活動をしてみたいかを話し合っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
これまで これから①	1	○ この1年間の国語の学習で、どのような学習をしてきたか書き出す。	考えの形成
		・ 教科書2・3ページを参考に思い出す。	考えの形成
これまで これから②	1	○ これからどのような活動をしたいか話し合う。	共有